

承認組合（※）による農業法人への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	いよエバーグリーン農業応援ファンド投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	いよぎんキャピタル株式会社	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社伊予銀行 ・いよぎんキャピタル株式会社 ・株式会社日本政策金融公庫 	
組 合 規 模	5億円	
投 資 対 象 の 範 囲	愛媛県内を中心に中四国内及び九州内の農業法人	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担当部署	株式会社伊予銀行ソリューション営業部
	連絡先	TEL：089-941-1141

※「承認組合」とは、農業法人投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農業法人の株式等の取得及び投資先農業法人に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事 例 1	出 資 先 名	株式会社小林果園
	所 在 地	愛媛県八幡浜市
	事 業 内 容	柑橘の生産販売のほか、ジュース、ジャム、冷凍みかん等の加工品製造販売
	出 資 額	5百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	冷凍みかんの加工技術の高度化により高い歩留まり率を実現したほか、アフターサービス体制の整備によって関東方面での学校給食において高い評価を得ており、今後一層の拡大が見込まれる。同社の意欲的な経営姿勢に共感し、先進的な取組を支援していくため出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成26年12月

事例 2	出 資 先 名	株式会社テレファーム
	所 在 地	愛媛県松山市
	事 業 内 容	有機栽培による農産物の生産、農作物遠隔栽培 WEB システムの運営（遠隔地にいる利用者が当社の農地を利用し、インターネット上で展開する「農作物遠隔栽培 WEB システム」により作付け等の指示に基づき栽培するもの）
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	インターネットを介して利用者が新鮮・安心な農作物を受け取ると共に天候不順による不作等のリスクも共有しつつ農業を支援する。同社の取組みは、IT を活用した地域で農業を支える新しい取組であり、ひいては地域活性化につながることから出資を決定。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 27 年 3 月	

事例 3	出 資 先 名	株式会社大愛
	所 在 地	愛媛県新居浜市
	事 業 内 容	高品質の菌床ならびに菌床きのこの生産・販売（子供が農作物の生長を楽しみながら学ぶ教材として、きのこ栽培キット「によきっと」の通信販売事業も展開）
	出 資 額	20 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	大手メーカーとの連携や菌床の個人向け通販の取組により新しい市場を積極的に開拓する一方、新品目の開発や高校との共同研究により新加工品の開発にも取り組むなど、同社の新たな事業領域発掘に意欲的な経営姿勢に共感し、先進的な取組を支援していくため出資。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	普通株式引受
契 約 時 期	平成 27 年 3 月	

事例 4	出 資 先 名	有限会社新城生産組合
	所 在 地	愛媛県西予市
	事 業 内 容	大豆、米麦、ブドウ、里芋の生産販売のほか、大豆加工品（自社ブランド「豆道楽」）の製造販売
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	いち早く集落営農、農業法人化に取り組むなど、地域を代表する農業者であり、自社ブランドによる生産物の付加価値向上にも力を入れている。今後も生産拡大・新商品開発を軸に成長を目指す同社の経営方針に共感し、先進的な取組を支援していくため出資。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	普通株式引受
契 約 時 期	平成 27 年 9 月	

事例 5	出 資 先 名	株式会社 King.field
	所 在 地	大分県国東市
	事 業 内 容	ネギの生産および、ネギ加工品の製造販売
	出 資 額	4 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	電気工事業より農業参入し、地域ブランド「味一ねぎ」として出荷を行うほか、生鮮出荷に不向きな部位を加工品として販売している。地域農業の振興につながる事業に共感するとともに、農業法人のスタートアップ時期を支援するため出資。
	出資金の使途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 27 年 9 月	